

東京フィルムセンター映画・俳優専門学校

速報 2015年度 卒業生

～芸能界へデビューを果たした先輩たち～

エージェントオフィス タクト

新庄剛志さん、滝藤賢一さん、清水美沙さんが所属している芸能プロダクション。

きっかけは卒業公演の『Mamma Mia!』を観ていただいたことです。実は、事務所もそろそろ決めないといけないけれど、事務所探し活動をしていると公演にも集中できなくなると結構焦っていたんです。そんな時に、奈良橋ゼミ(演技の授業)でお世話になった米倉リエナ先生に相談したところ、「今は稽古に集中しろ!目の前のことをしっかりやらないと先には進めないよ!」でもリサーチはしとけ!というアドバイスをいただきました。卒業公演に集中することができました。その結果、タクトさんからお声掛けをいただきました。先に同期の宮路遥香さんがタクトさんへ所属することが決まったと知り、実は羨ましく思っていたんです。なのでお声掛けいただいた時は、リエナさんの言う通りして本当に良

◆なぜ「エージェントオフィスタクト」さんに決めたのですか?

VOICE from



桑島 ダンテさん Dante Kuwashima

【岩手/台湾 出身 / 本校高等課程(俳優総合コース)卒業】

かったです。実は、事務所もそろそろ決めないといけないけれど、事務所探し活動をしていると公演にも集中できなくなると結構焦っていたんです。そんな時に、奈良橋ゼミ(演技の授業)でお世話になった米倉リエナ先生に相談したところ、「今は稽古に集中しろ!目の前のことをしっかりやらないと先には進めないよ!」でもリサーチはしとけ!というアドバイスをいただきました。卒業公演に集中することができました。その結果、タクトさんからお声掛けをいただきました。先に同期の宮路遥香さんがタクトさんへ所属することが決まったと知り、実は羨ましく思っていたんです。なのでお声掛けいただいた時は、リエナさんの言う通りして本当に良

お芝居は台湾と大阪でもやりました(日本で生まれて台湾で育ち、大阪へ)。台湾では親の勧めで6歳からダンスを始め、中学でEXPG(EXPERIENCEさんのダンススクール)に入りました。最初はダンサー・振付師になろうと思っていたんです。中学卒業後、英語を学ぶために大阪の学校に進学し、並行してEXPG大阪校にも通っていました。そんな中、元々映画が好きで興味があったので、芝居の勉強のできる学校を探していたら、東京フィルムセンターの高等課程を見つけました。最初は映画を作りたいと思っていたので、監督コースに入ろうと思っていました。でも見学に行った時に、当時2年生の演出をされていた後藤一機先生の稽古を見て、自分もこれくらい熱く・厳しく指導して欲しい、今しかこのような経験はできないかもしれないと思い、俳優コースへ入りました。(※現在、高等課程の募集は行っておりません。)



◆そもそもなぜ俳優を目指そうと思ったのですか?そしてなぜ東京フィルムセンターへ?

お世話になっているリエナさんもいる「アップス」とつながりがあること。他にもワークショップなどを受けた場合は、相談することもでき、自分でやりたいことを提案できるという点も魅力を感じました。

- エージェントオフィス タクト 桑島 ダンテさん P.01
- エージェントオフィス タクト 宮路 遥香さん P.02
- 株式会社 平井 孝樹さん・鬼頭 辰吉さん P.03
- フラッシュアップ(ヒラタオフィス新人部門) 有田 秀伸さん P.04
- 劇団スーパー・エキセントリックシアター (SET) 長坂 香里さん P.05
- 映像龍会(本校講師 望月龍平先生のカンパニー) 上本 真央さん P.06
- ヨコザワ・プロダクション 橋本 佳祐さん P.07
- 劇ワーサル 大石 瑞生さん P.08
- 宝映テレビプロダクション 菅原 寛さん P.09
- ミスキ事務所 スターダス・21(養成所) 長澤 宏至さん・山口 華代さん P.10
- 劇団プロモーション 松岡 勇孝さん P.11
- アスタリスク 長谷川 花恋さん P.12
- 2015年に大手劇団に所属決定の卒業生たち



東京フィルムセンター映画・俳優専門学校
http://www.movie.ac.jp

かったと思えました。他にもタクトさんが良いなと思ったのは、「本物志向」というところで。社長からの「一人ひとりがしっかりとブランド」として売り出していきたいというお話やマネージャーの皆さんが公演を観に来てください、本気で「役者」を見てくれる事務所だと思えました。あとは

◆好きな授業・タメになった授業を教えてください!

「奈良橋ゼミ」です。一番お芝居をしているという実感がありません。舞台制作(舞台演技の授業)は、作品の稽古も兼ねていますが、奈良橋ゼミではひとつのシーンを掘り下げて「演技」を学ぶことができたので、とても好きでした。次に勉強になったのが「スペシャル公演(成井豊先生演出の特別公演)」です。毎回課題があり、いただいた役のほとんどが自分自身に近く似ていたのですが、毎回「弱さ」だけが違い、そこが課題でもありました。課題に向き合っているうちに、役と芝居が自分にはないものを気づかせてくれて、人間として成長することができました。普通、成長は自分では分かりづらいものだと思うのですが、スペシャル公演終了後、初めて成長したなと思えました。とても勉強になりました。成井豊先生、白坂恵都子先生、白井なお先生という3人の演出家の方々から意見をいただけたのも良かったです。

◆今後の目標をお願いします!

親孝行が一番の目標です。実は色々悩んだり迷ったりした時期もありました。でも、両親が応援してくれているから、頑張り続けることができました。なので両親には恩を返していきたいです。もうひとつは、ハリウッドを通過点だと思えたら良いということです。目標がハリウッドだというより、通過点だと思った方がハリウッドへ行けると思っているからです。最終的に監督、作側になりたい。ハリウッドへ行き経験を積んでから、エンターテイメント事業を行う会社を起業したいです!

◆将来俳優を目指す方に向けてひとことお願いします!

後悔することもあると思いますが、自分の中に信じられるものが何かひとつでもあれば、それだけで大丈夫だと思います。言葉だったり、考えだったり、夢だったり。心から信じられるものを持ってください!

